

関東運輸局等の方々がバリアフリー体験に来られました。 (平成26年6月10日)

関東運輸局及び関東地方整備局の方々が高齢者疑似体験、車椅子、白杖の3つの体験を行いました。

関東管内においてバリアフリーを推進していく立場として、体に障害を持った人の体の自由がきかない状態を体験して頂きました。

1. 日 時 平成26年6月10日(火) 13:30~16:30
2. 会 場 関東技術事務所構内
3. 体 験 者 関東運輸局 交通環境部
関東地方整備局 企画部
以上 7人
4. 体験内容 高齢者疑似体験、車椅子体験、白杖体験

【高齢者疑似体験】

白内障メガネ、耳栓、重り、サポータ固定により、80歳の老人の体の状態を再現し、「自販機による買い物」、「階段の昇降」、「見る」、「書く」といった日常生活を、体験してもらいました。



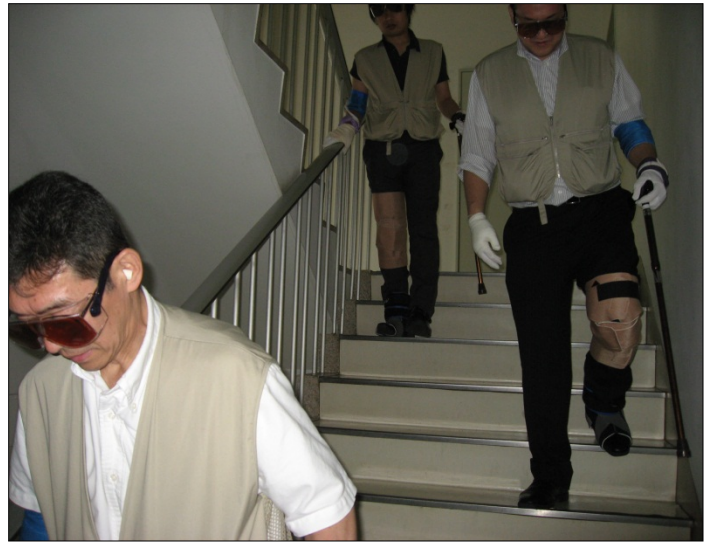
自動販売機による買い物

体験した感想：

- ・自販機の上段の飲み物を選びづらい。
- ・100円と10円玉の区別がつかない。
- ・お金を小銭入れから取り出しにくい。(落としそう)



階段の昇降(屋外)



階段の昇降(屋内)

体験した感想：

- ・屋内階段の薄暗い下り階段は、手すりにつかまらなると怖い。



色を見比べる

体験した感想：

- ・地の同系色で薄い色が見えにくい。



アンケートを書く

体験した感想：

- ・アンケートの字が読めない。
- ・高齢者疑似体験の中で一番、難しいと感じた。
- ・白い用紙と黄色の用紙の区別がつきにくい。

【車椅子体験】

車椅子でバリアフリー歩道と障害のある歩道を比べ足の不自由な人の体験をして頂きました。



バリアフリー歩道



障害のある歩道

体験した感想：

- ・2 cmの段差越えは、意外と難しい。

【白杖体験】

アイマスクと白杖でバリアフリー歩道と障害のある歩道を歩き比べ目の不自由な人の体験をして頂きました。



バリアフリー歩道は、杖を頼りに自力で歩き、
コースを外れた時だけ、補助者の声による誘導。

体験した感想：

- ・ 誘導ブロックの凸凹を杖で確認するのは、思った以上に難しい。
- ・ 目隠しをした状態で杖を頼りに歩くのは、怖い。
- ・ 補助者の声による誘導は、ほっとする。